

補 装 具 調 査 書 (電動車いす)

北海道立心身障害者総合相談所

<p>【記載上の留意事項】</p> <p>1 この調査書は、電動車いすの判定に使用する。</p> <p>2 この調査書の記載者は、市町村、医療機関又は福祉施設等の担当職員である。</p> <p>3 選択肢がある場合は、該当する項目に○印（複数も可）をつけ、（ ）内には具体的内容を記入すること。</p>					
氏 名		年 齢		市町村名	
<p>支給を希望する理由（具体的かつ詳細に記入すること）</p>					
希望機種及び使用場所等	支給を希望する機種	1 普通型四輪（4.5 km/H用） 2 普通型四輪（6 km/H用） 3 ハンドル型（三輪・四輪） 4 リクライニング式普通型 5 電動リクライニング式普通型 6 電動ティルト式普通型 7 電動リクライニング・ティルト式普通型 8 電動リフト式普通型 9 簡易型（切替式・アシスト式） 10 その他（ ）			
	使用場所	1 屋内 2 屋外 3 屋内、屋外			
	使用目的	1 仕事 2 日常生活動作（含む家事動作） 3 散歩 4 買い物 5 通院 6 その他（ ）			
車いす及び他の補装具の使用状況	使用状況	1 電動車いすを使用している。 (年 月ごろより) 2 電動車いす以外の車いすを使用している。 (年 月ごろより) 3 上記以外の肢体不自由者用の補装具を使用している。 (年 月ごろより) 4 肢体不自由者用の補装具は使用していない。			
	使用している補装具	肢体不自由者用の補装具のみ記入すること。 1 電動車いす（普通型四輪） 2 電動車いす（ハンドル型） 3 普通型車いす 4 手押し型車いす 5 歩行補助つえ 6 短下肢装具 7 その他（ ）			
<p>障害の状況、経過等を詳細に記入すること。</p>					

身	視	眼鏡等の装着の有無	1 あり 2 なし	視 力	右	左
	覚	眼鏡等を装着している場合は、装着した状態で記入すること。視力がわかる場合は視力を記入し、矯正視力の場合は () をつけること。 1 特に問題がない。 2 新聞、雑誌等を近づけて見る。 3 ものが二重に見える。 4 ものが欠けて見える。 5 ものが歪んで見える。 6 薄暗くなるとものが見えにくい。 7 全く見えない。 8 その他 ()				
体	聴	補聴器の装着の有無	1 あり 2 なし	聴 力	右	d B 左 d B
	覚	補聴器を装着している場合は、装着した状態で記入すること。聴力がわかる場合は聴力を記入すること。 1 特に問題がない。 2 大きな声で話さないと聞こえない。 3 聞き返しが多い。 4 テレビやラジオの音を大きくする。 5 全く聞こえない。 6 その他 ()				
状	てんかん発作の有無		1. あり (おこす頻度:) 2. なし			
	起居動作・移動動作	寝 返 り	1 可 2 つかまるものがあると可 3 不可			
		起 き 上 が り	1 可 2 つかまるものがあると可 3 不可			
		座 位	1 可 2 背もたれがあると可 3 不可			
床 からの 起 立		1 可 2 つかまるものがあると可 3 介助にて可 4 不可				
椅子からの 起 立		1 可 2 つかまるものがあると可 3 介助にて可 4 不可				
歩 行		1 独歩可 (m 程度) 2 杖等支持があると可 (m 程度) 3 不可				
車いすの自力駆動		1 屋外でも可 2 屋内のみ可 3 不可				
移乗動作	床 上 移 動	1 居ざりにて可 2 這って可 3 寝返りにて可 4 その他 5 不可				
	車いすや電動車いすの経験のない者についても記入すること。					
日常生活動作	床⇔車いす	1 可 2 一部介助 () 3 不可				
	ベット⇔車いす	1 可 2 一部介助 () 3 不可				
	食 事	1 可 2 一部介助 () 3 不可				
	洗 顔 ・ 歯 みが き	1 可 2 一部介助 () 3 不可				
	衣 服 の 着 脱	1 可 2 一部介助 () 3 不可				
排 尿	1 可 2 一部介助 () 3 不可					
排 便	1 可 2 一部介助 () 3 不可					

手 動 式 車 い す の 操 作 状 況		手動式車いすを使用している者のみ記入すること。		
	前進・後退	1 可	2 なんとか可	3 不可
	回転	1 可	2 なんとか可	3 不可
	段差乗り越え 坂(3~4度)のぼり	1 可	2 なんとか可	3 不可
電 動 車 い す の 操 作 能 力	操作経験がある者、又は電動車いすが用意でき検査ができる場合に記入すること。			
	第1 基本的事項			
	1 電動車いす操作経験の有無。〔ありの場合は（ ）内に使用期間と使用場所を記入すること〕			
	(1) あり（ 年 月 日ごろより か月間 場所： ） (2) なし			
	2 操作に使用する部位はどこか。			
	(1) 右上肢 (2) 左上肢 (3) 両上肢 (4) 右下肢 (5) 左下肢 (6) その他（ ）			
	第2 操作能力			
	1 操作部位をコントロールボックスまでもっていくことができるか。			
	(1) 可 (2) なんとか可 (3) 不可			
	2 メインスイッチ、速度切り替えスイッチの操作ができるか。			
(1) 可 (2) なんとか可 (3) 不可				
3 発進、停止が円滑にできるか。				
(1) 可 (2) なんとか可 (3) 不可				
4 前進・後進が円滑にできるか。				
(1) 可 (2) なんとか可 (3) 不可				
5 右折、左折等方向転換が円滑にできるか。				
(1) 可 (2) なんとか可 (3) 不可				
6 蛇行運転が円滑にできるか。				
(1) 可 (2) なんとか可 (3) 不可				
7 坂道での操作はできるか。				
(1) 可 (2) なんとか可 (3) 不可				
8 溝、段差乗り越えの操作はできるか。				
(1) 可 (2) なんとか可 (3) 不可				

使	1 家屋の状況（施設入所者は全項目記載不要。屋内で使用しない者は家屋内の見取図の記載は不要）	
	住宅の形態	(1) 自家 (2) 借家 (3) アパート (4) 公営住宅（一般用） (5) 公営住宅（障害者用） (6) その他（ ）
用	住宅改造の状況	(1) 車いす用に改造している。 (2) 改造していない。
	住宅改造の予定	(1) 予定がある。（ 年頃に） (2) 予定がない。
環	電動車いすの格納場所	(1) 玄関 (2) 室内 (3) 物置 (4) その他（ ）
	家屋内の見取図	電動車いすが効果的に使用できるかどうか、確認のうえ別紙に記入すること。
境	2 住宅周辺の道路状況（屋外で使用しない者は、記載不要） 住宅からの主な走行経路を道路事情、安全性を確認し、見取図として別紙に記載すること。	
<p>調査年月日 年 月 日</p> <p>所属機関名</p> <p>調査者職・氏名</p>		

《家屋内の見取図》 使用個所の段差の有無、広さ、ドアの型式（開き戸、引き戸）幅を記入すること。又、電動リフト式を希望する場合はベッド、便器、調理台、棚、食卓テーブル等の高さを記入すること。

《住宅周辺の道路状況》 路面の状態（舗装の有無、段差、傾斜、溝等）、交通事情（歩道や信号機の有無、交通量の多少）等使用環境を詳細に記入すること。